

# 幼児期の教育に学ぶ

國學院大學人間開発学部初等教育学科

田村 学

# 教育課程

## 育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

生きて働く  
知識・技能の習得

理解していること・できる  
ことをどう使うか

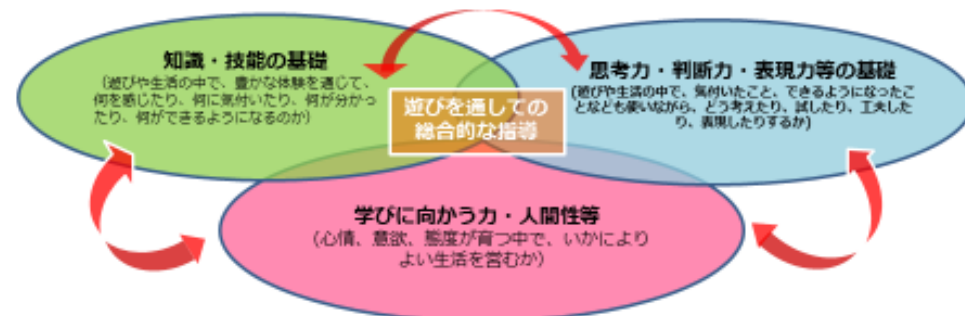
未知の状況にも対応  
思考力・判断力・表現

## 「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ」（平成28年8月） 幼児教育部分のポイント

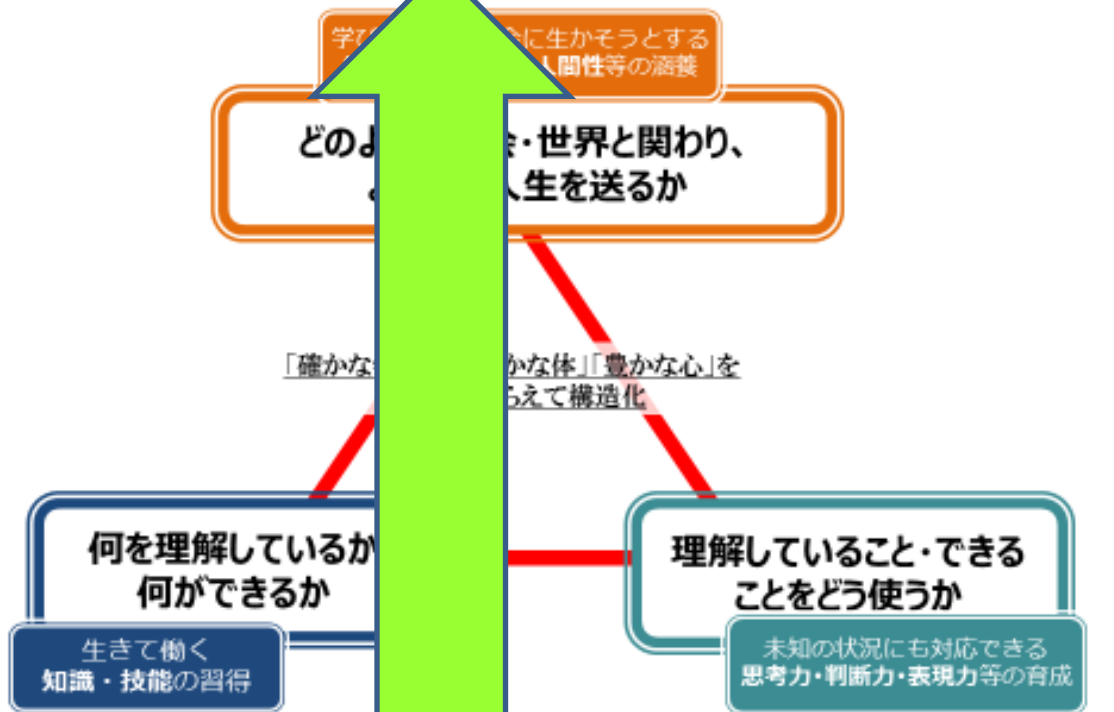
### 育みたい資質・能力の明確化

- 各学校段階及び全ての教科等について共通する、育成を目指す資質・能力を明確化
- **資質・能力の三つの柱**として整理
  - ①生きて働く「知識・技能」の習得
  - ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
  - ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養
- **幼児教育段階では、三つの柱を下図のように整理。**この資質・能力は**現行幼稚園教育要領の5領域の枠組において育むことができるため、5領域は引き続き維持**  
なお、幼児教育の特性から、これらは**個別に取り出して身に付けさせるものではなく、遊びを通しての総合的な指導を行う中で、一体的に育てていくことが重要**

へ環境を通して行う教育



# 育成を目指す資質・能力の三つの柱



## 「次期学習指導要領までの審議のまとめ」(平成28年8月) 各部分のポイント

### 育みたい資質・能力の明確化

- 各学校段階及び全ての児童・生徒に共通する、育成を目指す資質・能力を明確化
- 資質・能力の三つの柱
  - ①生きて働く「知識・技能」の習得
  - ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
  - ③学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
- 幼児教育段階では、3領域の枠組において資質・能力を育む。なお、幼児教育の特性に応じた指導を通しての総合的な指導

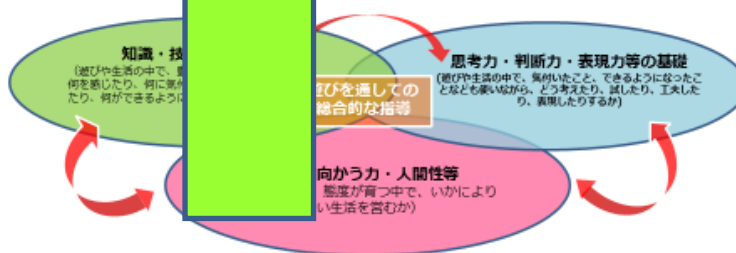
共通する、育成を目指す資質・能力を明確化

「思考力・判断力・表現力等」の育成  
「学びに向かう力・人間性等」の涵養

どのように整理。この資質・能力は現行幼稚園教育要領のため、5領域は引き続き維持

「学び」を取り出して身に付けさせるものではなく、遊び体的に育んでいくことが重要

環境を通して行う教育



# 幼稚園教育要領・小学校学習指導要領

■ 幼稚園教育要領 第1章総則第3の5

第1章総則第2の3

小学校教育との接続

■ 小学校学習指導要領 第1章総則第2の4の(1)

第5節生活第3の1の(4)

スタートカリキュラム

# 小学校学習指導要領

## 第1章総則第2の4の(1)

### 4 学校段階等間の接続

教育課程の編成に当たっては、次の事項に配慮しながら、学校段階等間の接続を図るものとする。

(1) **幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、**低学年における教育全体**において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。**特に、小学校入学当初においては**、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、**生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。**

# 小学校学習指導要領

## 第5節生活第3の1の(4)

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(4) 他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続できるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期における遊びを通じた総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるようにすること。その際、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

## モデル地域における架け橋期のカリキュラムの開発イメージ

架け橋期のカリキュラムについては、各園・小学校が共通の視点を持ち、教育課程や指導計画等で具体化しやすい工夫が必要。自治体ごとの工夫を促しつつ、例えば、下記のような共通項目を整理して示すことが考えられる。

### 5歳児と小学校1年生

項目例

①期待する子供像

②遊びや学びのプロセス

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとしながら、5歳児の力

③園で展開される活動／生活科を中心とした単元構成



## モデル地域における架け橋期のカリキュラムの開発イメージ

架け橋期のカリキュラムについては、各園・小学校が共通の視点を持ち、教育課程や指導計画等で具体化しやすい工夫が必要。自治体ごとの工夫を促しつつ、例えば、下記のような共通項目を整理して示すことが考えられる。

### 5歳児と小学校1年生

項目例

①期待する子供像

②遊びや学びのプロセス

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとしながら、5歳児の力

③園で展開される活動／生活科を中心とした単元構成

## モデル地域における架け橋期のカリキュラムの開発イメージ

架け橋期のカリキュラムについては、各園・小学校が共通の視点を持ち、教育課程や指導計画等で具体化しやすい工夫が必要。自治体ごとの工夫を促しつつ、例えば、下記のような共通項目を整理して示すことが考えられる。

### 5歳児と小学校1年生

項目例

①期待する子供像

①期待する子供像



資質・能力の三つの柱

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、スタートカリキュラムとスタートカリキュラムを共通の視点で策定できるように工夫

# 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

## 健康な心と体

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿は、  
資質・能力が育まれている具体的な姿である

と体を十分に働かせ  
なる。

## 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動や楽しむ中で、しなければならないことを自覚し自分の力でおこなうために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる。

## 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

## 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりを作ったり守ったりするようになる。

## 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちを持ちつつ、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりの意識するようになる。

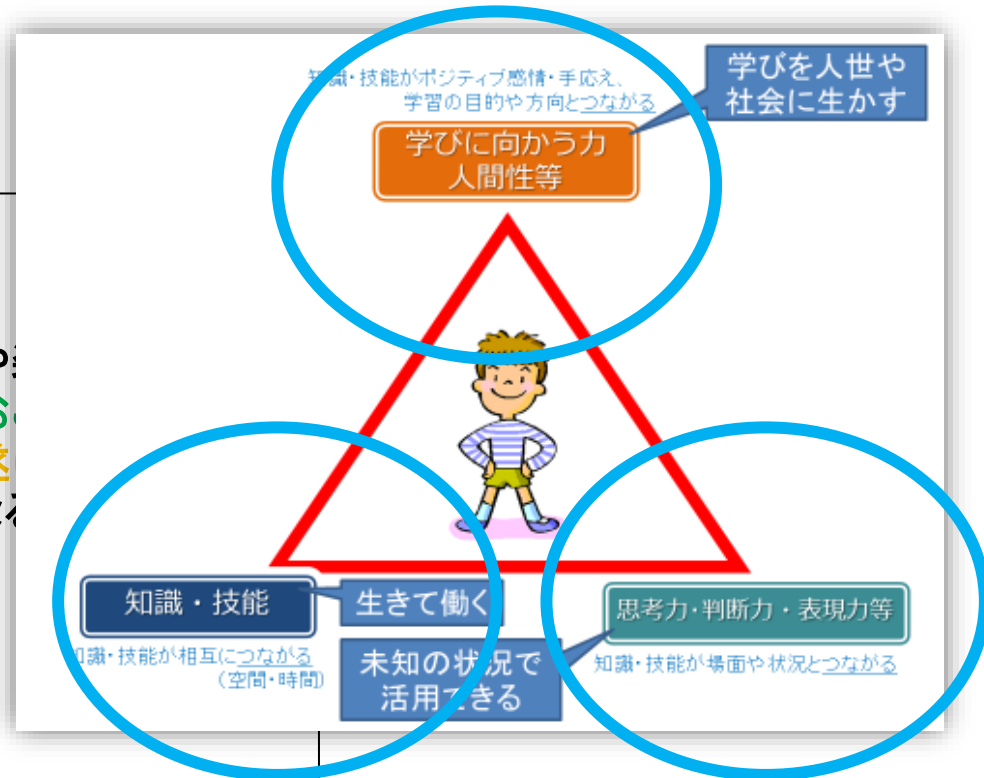
# 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動や  
なければならないことを自覚し自分の力でお  
えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂  
感を味わい、自信を持って行動するようにな



知識、技能

思考力、判断力、表現力等  
学びに向かう力、人間性等

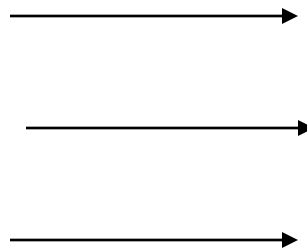


# 学習活動・学習評価

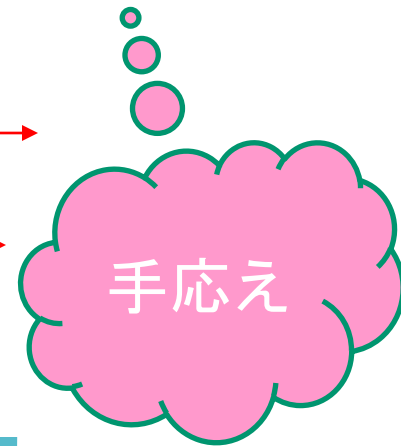
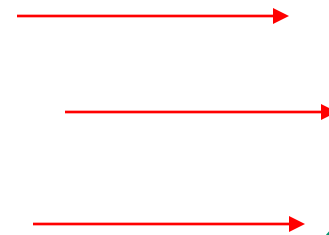
# 幼児期の教育に学ぶ①

PROCESS(思考)

INPUT(体験)



PRODUCT(気づき)



# 幼児期の教育に学ぶ②

◆ 「アクティブ・ラーニング」の3つの視点を明確化することで、授業や学習の改善に向けた取組を活性化することができる。これにより、知識・技能を生きて働くものとして習得することを含め、育成すべき資質・能力を身につけるために必要な学習過程の質的改善を実現する。

◆ 資質・能力は相互に関連し、習得・表現において、習得された知識・技能が思考・判断・表現において活用されるという一方通行の関係ではなく、思考・判断・表現が生きて働くものとして習得されたり、思考・判断・表現の中で知識・技能が更新されたりする。

言葉

体験

## 学習過程（プロセス） の充実

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

対話的な学び

深い学び

学びを人生や社会に  
生かそうとする  
学びに向かう力・  
人間性等の涵養

生きて働く  
知識・技能の  
習得

未知の状況にも  
対応できる  
思考力・判断力・表  
現力等の育成

※ 基礎的・基本的な知識・技能の習得に課題が見られる場合においても、「深い学び」の視点から学習内容の深い理解や動機付けにつなげたり、「主体的な学び」の視点から学びへの興味や関心を引き出すことなどが重要である。

# 幼児期の教育に学ぶ③

## 学習評価

### 「見えにくいものを見取る」

「広い目、長い目、基本の目」

- 子どもの姿を関連付けて見取る
- 子どもの姿を継続的に見取る
- 子どもの姿を想定して見取る（評価規準）

（元文部科学省主任視学官 嶋野道弘）



スタートカリキュラムの編成の仕方・進め方が分かる

# スタートカリキュラム スタートブック

必携!



～ 学びの芽生えから自覚的な学びへ ～

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 平成27年1月

「スタートカリキュラム  
スタートセット」  
(国立教育政策研究所  
教育課程研究センター  
平成27年2月)

スタートカリキュラムとは、小学校へ入学した子供が、幼稚園、保育所、認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

# 発達や学びをつなぐ スタートカリキュラム

スタートカリキュラム導入・実践の手引き

文部科学省  
国立教育政策研究所  
教育課程研究センター 編著

学事出版

「学び」をつなぐ